

第21回全国環境連全国大会

開催地：岡山市
 場所：岡山プラザホテル
 開催日：令和7年10月24日(金)
 テーマ：「原点から学び、つなげる
 サステナビリティー～不易流行～」
 担当：岡山県環境整備事業協同組合

鹿環協かわら版

みずすまし

Kakankyo

発行者

発行日 令和7年7月1日
 鹿児島県環境整備事業協同組合
 理事長 宮地 光弘
 鹿児島市宇宿2丁目9-9
 URL <http://kakankyo.net>

令和7年度 鹿児島県環境整備事業協同組合 通常総会

令和7年5月22日、鹿児島サンロイヤルホテルにおいて令和7年度通常総会が開催された。

吉田副理事長の開会のことば、宮地理事長の挨拶に引き続き、永年勤続功労者九名の表彰があり、その後、前島実鹿児島県土木部次長、松里保廣公益財団法人鹿児島県環境保全協会理事長から来賓祝辞をいただいた。

議事に入り、南大口・伊佐清掃社 湯田猛議長のもと五議案につき審議を行った。

第一号議案

・令和6年度事業報告及び決算関係書類承認の件

Ⅰ事業活動の概況に関する事項

①当該事業年度(末日)における主要な事業内容・当該事業年度における事業の経過及びその成果

②増資及び資金の借入れその他の資金調達状況

③設備投資の状況

④業務提携等重要事項の概要

⑤直前三事業年度の財産及び損益の状況

⑥対処すべき重要な事項・組合の現況に関する重要な事項など

Ⅱ運営組織の状況に関する事項

①総会の開催状況

②理事会の開催状況

③監査・委員会の開催状況

④組合員数及び出資口数の増減

⑤役員に関する事項

⑥職員の状況及び業務運営組織図など

Ⅲその他の組合の状況に関する重要な事項

第二号議案

・令和7年度事業計画及び収支予算決定の件

Ⅰ事業方針

Ⅱ事業計画

①強固な経営基盤づくりの推進

②時代の変化や多様なニーズに即した先進的対応の推進

③社会から信頼・評価される事業活動の推進

④安全で働きやすい職場環境づくりの推進

⑤執行体制の確立

第三号議案

・令和7年度経費の賦課及び徴収方法決定の件

第四号議案

・令和7年度借入金残高の最高限度決定の件

第五号議案

・役員報酬の件など、すべて原案通り可決決定された後、地元代議士の衆議院予算委員会での発言に対する組合の対応も協議し、梶井理事の閉会のことばで総会を終了した。



▲通常総会の様子



▲環境保全協会理事長 松里 保廣 氏



▲鹿児島県土木部次長 前島 実 氏



▲理事長 宮地 光弘

総会終了後、同ホテルで意見交換会が開催され、宮地理事長の挨拶で開会した。まず、ご来賓を代表して鹿児島県知事(土木部次長代読)から、地域の生活環境の保全や公衆衛生の向上への大きな貢献に対する敬意等のお言葉をいただいた後、鹿児島県議会浄化槽議員連盟の大久保博文議員から挨拶をいただいた。また、交換会では、同議員連盟の日高滋鹿児島県議会議長や園田豊副議長にも挨拶をいただくなど、県、県議会議員、関係機関・団体など多くの参加者との有意義な意見交換の場となり、迫田副理事長の締めで盛会のうちに終了した。



▲永年勤続表彰



▲湯田議長

美しい水を守る


フジフイルム工業株式会社

鹿児島 営業所 〒890-0072 鹿児島市新栄町25番8号
 鹿屋 営業所 〒893-0023 鹿屋市笠之原町1561-2
 川内 営業所 〒895-0044 薩摩川内市青山町4219番地1

福岡支店 〒812-0016

福岡市博多区博多駅南4丁目2番10号
 TEL 092-441-0222 FAX 092-441-0252

TEL 099-257-3501 FAX 099-257-3590
 TEL 0994-43-4437 FAX 0994-43-2710
 TEL 0996-27-2905 FAX 0996-27-2915



▲大久保議員



▲園田副議長



▲日高議長



▲意見交換会の様子

永年勤続功労者表彰

- ・荒神 敬一様
国分準人衛生公社
- ・重水 政則様
吉村興業
- ・假屋 政文様
大隅衛生曾於
- ・末田 浩孝様
大隅衛生志布志
- ・蔵坪 裕行様
大隅衛生生屋
- ・新戸 恵二様
阿久根清掃社
- ・有村 文高様
サニテック
- ・當 英正様
笠利清掃社
- ・中島 亮様
福田環境



蔵坪 裕行様 末田 浩孝様 假屋 政文様 重水 政則様 荒神 敬一様
中島 亮様 當 英正様 有村 文高様 新戸 恵二様

以上の方々はこの度、永年勤続功労者表彰の栄誉に輝きました。心よりお祝い申し上げます。また、これからも環境保全に尽力され、更なるご活躍をご期待申し上げます。

令和7年度 青年部会通常総会

五月二十三日鹿児島サントリーホテルにて、令和7年度鹿児島県環境整備事業協同組合青年部会通常総会が開催された。松原剛青部会長が挨拶の後、来賓挨拶として宮地理事長、鹿児島県中小企業団体中央会連携情報課主事久保直也様より青年部活動への温かい励ましと激励のお言葉を頂いた。

その後有川真奈斗議長のもと、六議案につき審議を行い、原案どおり可決決定された。

第一号議案
・令和7年度事業報告承認の件

第二号議案
・令和7年度決算及び剰余金処分並びに監査報告承認の件

第三号議案
・会費の決定額の件

第四号議案
・令和7年度事業計画の件

①全国青年部研修会など全国の活動に積極的に参加し、業界の課題点について学び知識教養を身に付ける。

②年三回の定例会を計画し、国の施策に対応した研修会や青年部会員の抱える業務的な悩みや問題を共有し議題として解決策を探る。また、今年度も業界に連した県外研修を計画し、新たな知識を身に付ける。

③喫緊の課題をテーマに青年部主催勉強会を複数回開催し、青年部一丸となって業界発展、各種問題解決に取り組む。加えて、鹿環協の

歴史に関する勉強会を開催計画し、若手会員の業界に対する意識の醸成を図る。

④組合の各委員会に青年部会員を参画させて頂き、委員会活動を通じて親会との連携強化を図る。

⑤鹿環協ホームページ・ネットクラウド等を活用し、部会員に新しい情報を遅滞なく配布できる体制を整え参画できるような意識の向上を図る。また時代の変化に合わせた新たなコミュニケーション方法を探る。

⑥業務に関係する各団体や、他団体との交流を進めるとともに関係法令についても熟読する習慣を身に付ける。

⑦青年部会として地域社会に貢献できるよう、環境保全活動、社会的活動を行う。

⑧組合青年部の組織強化のため、部会員の入会活動を行う。

第五号議案
・令和7年度予算の件

第六号議案
・理事追加予算の件

始良衛生(有)の八丸真人氏が新たに理事に選任された。



▲青年部通常総会の様子



▲松原会長

議事終了後、新たに青年部に入会する三名の紹介があり、次のとおり抱負を述べられた。

(有)南薩東京社 松尾 優太朗氏
まずは顔を覚えてもらって、皆様から多くを学びこの業界に貢献できるよう努力してまいります。



▲松尾 優太朗氏

吉村興業 吉村 良啓氏
組合の活動を覚えることも業界の知識を身に付けて、業界の発展と組合を盛り上げていきたい。



▲吉村 良啓氏



▲安藤 徹氏

鹿屋衛生管理センター 安藤 徹氏
この一年、業界の歴史と直面する課題について学んだ。今後は微力ではあるが、役に立てるように精進したい。

MURITA x KAO 共同開発 臭気・衛生対策製品

花王が開発した液をモリタエコノス独自技術で効率的に噴霧！



菌・ウイルス除去に
ミラクルキヨラ™
菌・ウイルスを99%除去※
エタノール不使用で引火の心配なし！
※すべての菌・ウイルスを除去するわけではありません。
生ゴミ臭対策に
ミラクルキヨラ™
専用香料で不快な悪臭を爽やかな香りに！

ポンプオイルに添加するだけ！



不快臭対策に
ミラクルチェンジャー™
不快な悪臭を心地よい香りに変化！

環境保全車両の開発・製造・販売

株式会社 **モリタエコノス**

Webサイトはこちら



このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。
アクセス解析は匿名で収集されており個人を特定するものではありません。
この機能はCookieを有効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができます。
お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

経営管理委員会活動報告
委員長 土屋 要九

二月二十日、第二回委員会を開催しました。
①災害支援については、災害発生時に迅速かつ円滑に支援を実施できるよう、鹿環協の支援体制や協力要請時の対応等を協議しました。災害時におけるし尿等の収集運搬に関する協定書案も示しています。
②浄化槽維持管理の標準契約書については、青年部作業部会の協力の下、各社の契約書を参考に各項目について精査し、記載されていた方が望ましい項目を盛り込んだモデル契約書案を作成しました。
③県浄化槽協議会への対応については、法改正された法定協議会、作業部会について説明があり、市町村からのアンケート調査結果も共有されました。
④令和七年度事業主研修会については、各事業主にとって有益な情報提供ができるように講師と講演内容を検討しています。
このように、当委員会では、組合員に有益な経営情報の提供となるべく協議し上申しています。

企画広報委員会活動報告
委員長 下ノ堀昇平

三月十四日、第二回委員会を開催しました。
一年の企画広報の活動内容は①鹿環協かわら版「みずすまし」と組合員用「みずすまし」の2つの編集方法、②さらなるネクスツククラウドの活用③鹿児島県浄化槽協議会について④災害時における鹿環協の支援対応（し尿等収集運搬）に関して、組合の緊急連絡網の作成について協議しました。
まず、「みずすまし」では、組合で行われた活動、行事の報告などの掲載共有していく「みずすまし」では、主に青年部活動、研修視察、主管勉強会、災害支援の取り組みなど、組合員にとって新しい情報を共有し合いました。
昨年度からコミュニケーションツール「ネクスツクラウド」の運用が開始され、組合間の円滑なコミュニケーションの、情報共有により組合員相互の連携強化が図られました。これからも「便利で良くなるツール」を目標として、取り組んでいきたいとおもいます。

技術管理委員会活動報告
委員長 瀧田 秀之

二月二十一日、第二回委員会を開催しました。
まず、令和七年度の浄化槽維持管理技術研修会については、十一月十四日に開催することとし、第一部で鹿児島県における浄化槽型式別の水質悪化の原因について鹿児島県環境保全協会に説明してもらった後、浄化槽メーカーに参加して、意見交換会を実施することとしました。
有意義な研修会とするため事前に組合員に、浄化槽メーカーの型式毎に浄化槽の維持管理上の留意点、疑問、問題点など質問・意見を出してもらい、浄化槽メーカーに事前に回答をいただく方向で作業を進めることとしました。提出された調査票を集計した上で参加要請する浄化槽メーカーを選定することとします。
また、令和八年度以降の研修会のテーマについて、各委員から効率的な清掃方法、温室効果ガスの削減方法など様々な意見が出され、引き続き協議することとしました。

北薩スロツク研修会



令和七年一月三十日、阿久根市のABCパレスにて、北薩ブロック内三社十三名及び宮地理事長、吉村副理事長、松尾理事など、計十九名が参加して北薩ブロック研修会を開催した。
白坂ブロック長及び宮地理事長の挨拶の後、鹿児島県環境保全協会の大町盛一郎検査部長及び浜崎桂二検査三課長を講師に招き、「対応レベル0の改善に向けた取組について」をテーマにご講演をいただいた。
まず、効率化検査による適正率については、北薩ブロックにおいては、合併浄化槽の適正率は向上しているとのことであった。
次に、レベル0の発生率の状況、発生原因、原因別の改善率について説明があり、レベル0発生を低減させるために送風機故障をなくす、改善できる水質悪化をなくすことが大事とのことであった。浄化槽の型式別の水質悪化の発生率についても説明され、今後管理士が行う保守点検に非常に役立つもので、実り多き研修会であった。

40m³/min 強力吸引作業車 風量40m³/min ラインナップ高圧洗浄車 MOBILE JET
モービルジェットK&E 兼松エンジニアリング株式会社
KANEMATSU ENGINEERING CO., LTD.ベストセラー
SM
シリーズ水の要らない
NS
シリーズ低騒音
LS
シリーズし尿収集 / 浄化槽点検・清掃会社様向け
基幹業務システム廃棄物業務の管理、CTIやGISなどの各種オプション充実
業務内容に合わせた独自カスタマイズにも対応いたしますオプション
製品現場でスマホ、スマートフォン・タブレット
現場で印刷！ 現場支援システム Android版

オンラインデモ実施中！

0800-100-5239

受付時間 9:00~12:00, 13:00~17:30 (月~金)



communication consulting company

日本電算株式会社

https://nihondensan.com



EcoMaru

市町村との
災害支援協定

近年、毎年のように全国各地で大規模な災害が発生し、行政における災害廃棄物の処理に係る事前の備えが重要視されています。

県においても、昨年度から「県災害廃棄物対応力・連携強化事業」が実施され、連絡会議やエリア別会議などの開催により、関係者間の協力連携体制の構築、市町村の廃棄物処理計画の実効性の向上などを図る取組が進められていきます。当組合もこの取組に参加し、知識の修得や連携構築に努めています。

当組合では、平成十七年三月に鹿児島県と「災害時におけるし尿及び浄化槽汚泥等の収集運搬に関する協定」を締結し、被災市町村への支援を行うこととしていますが、市町村から協力

災害時におけるし尿及び浄化槽汚泥等の収集運搬に関する協定書

〇〇市(以下「甲」という。))と鹿児島県環境整備事業協同組合(以下「乙」という。))は、災害発生時におけるし尿及び浄化槽汚泥(以下「し尿等」という。))の収集運搬に関し、次のとおり協定を締結する。

(目的)

第1条 この協定は、災害に伴い〇〇市域で発生するし尿等の収集運搬に関して、甲が乙に協力を要請する場合の必要な事項を定め、災害時において迅速かつ円滑に市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この協定において「し尿等」とは、災害時に発生したし尿、浄化槽汚泥(避難所等に設置された仮設トイレ及び浄化槽設備から排出されるものを含む。))で、〇〇市が生活環境保全上特に処理が必要と判断したものをいう。

(協力要請の内容)

第3条 この協定により、甲が乙に協力を要請する業務は次のとおりとし、甲が実施するし尿等の収集運搬に可能な限り協力するものとする。

- (1)災害時におけるし尿等の収集運搬に必要な車両の提供及び人員の確保
- (2)資機材の提供
- (3)派遣及びその他し尿等の収集運搬に関する必要な措置
- (4)甲が指定する処理施設への運搬
- (5)前各号に伴う必要な業務

(協力要請の手続き)

第4条 甲は、第3条に定める業務について協力を要請するときは、別紙

(以下省略)

国立環境研究所視察

令和七年二月二十七日に茨城県にある国立環境研究所バイオエコエンジニアリング研究施設を技術管理委員会、理事の有志十四名で視察を行った。

この視察は、当組合がかねてから二〇五〇年カーボンニュートラルに向けた浄化槽分野における温暖化対策に関して交流のある東洋大学の山崎宏史教授から、浄化槽から発生する温室効果ガスの削減を目指すべく、この施設を視察するべきとの助言で実施したものである。

この研究施設は、国内外の水環境の保全・再生と廃棄物・資源循環問題を解決するための国際的研究活動拠点で、毎日100人の生活排水を処理施設から搬送し、各種研究開発に利用されており、各施設を視察しながら、山崎教授と同研究所 蛭江美孝上席主幹研究員を中心に説明をいただいた。

この施設の主な取組は、①国内の四季変動やアジア地域の気候条件を再現でき、低水温・高水温の条件下での浄化槽の性能評価試験、②水耕栽培浄化実験などが行われている。

この施設で温室効果ガスを測定する浄化槽を用いた単位装置ごとのガスの発生の実験を視察させていただいた。浄化槽から発生する主なガスはメタン、二酸化炭素、一酸化二窒素で、一般家庭を想定した気温、水

温、流入パターンを踏まえ研究が行われており、さまざまな条件下でモニタリングしているメタン、二酸化炭素、一酸化二窒素のデータをもとに、将来的には温室効果ガス削減のための浄化槽維持管理ガイドラインのようなものを作り出したいとのことであった。

また、浄化槽内の写真画像から温室効果ガスの発生量を判定する研究や浄化槽汚泥を活用する研究なども紹介された。

さらに、国において、脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環の取組を一体的に促進する措置が進められていることや、浄化槽維持管理業への考えられる影響などについても説明を受けた。

温暖化対策について浄化槽分野でもスピード感を持って取り組んでいくことや業界を取り巻く様々な動きをしっかりと把握し、今後、的確に対応していく必要があることを感じた視察であった。



令和7年度(7月以降) 行事予定

月	日	行 事	内 容	場 所	備 考
7	9	浄化槽保守点検業の登録研修会	県登録研修	加音ホール	環境保全協会主催
	18	酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育研修会	従事者特別教育	保全協会大研修室	
	31~8/1	低圧電気取扱特別教育研修会	従事者特別教育	保全協会大研修室	
9	12	浄化槽維持管理研修会	管理士講習	サンロイヤルホテル	環境保全協会主催
10	8	浄化槽保守点検業の登録研修会	県登録研修	自治会館	環境保全協会主催
11	14	事業主・浄化槽維持管理技術研修会	経営者・管理士講習	マリンバレスかごしま	
随時(講習会要領のとおり)		浄化槽管理士講習会	管理士取得講習	ワデマンドor現地(福岡)	

編集後記

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。その中でも基本となるのは「自助」、自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。特に災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。「自助」に取り組むためには、まず、災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇したときの、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。また、身の安全を確保し、生き延びていくためには、水や食料などの備えをしておくことも必要です。

防災対策には、十分としか絶対大丈夫というものはありません。一人ひとりが平時からハザードマップを確認し自宅の災害リスクを認識するなど、自分の周りにどのような災害の危険が及ぶのかを考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。(政府広報オンラインより)

(協業)薩南浄水管理センター
徳永 博光